

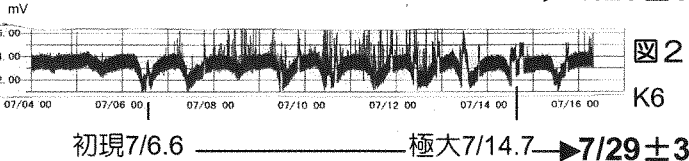
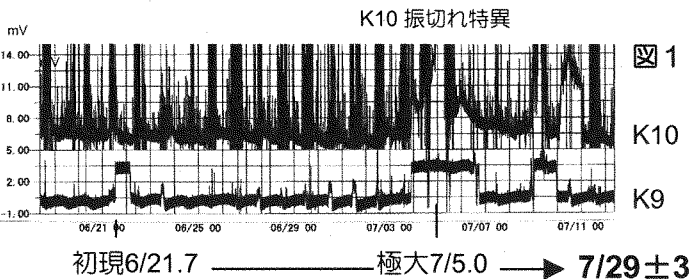
PHP新書「地震予報」読者の皆様へ
No.1778長期継続大型地震推定前兆
原稿校了後の前兆変化についての続報

続報 No.327

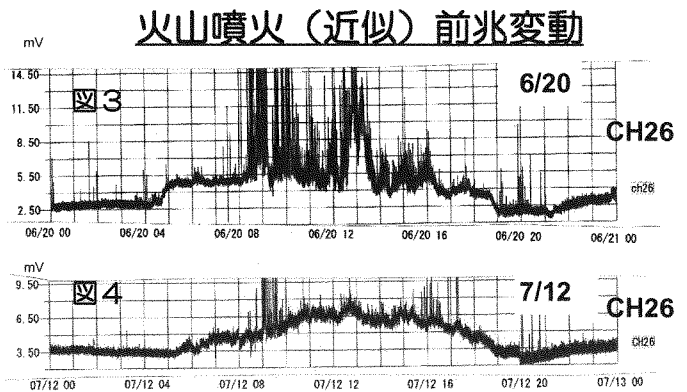
2022.07/16 (土曜) 13:00 発表

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254

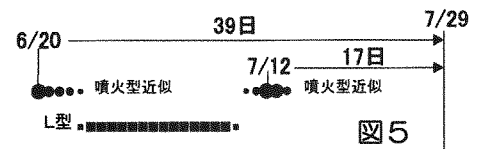
7月29日 (誤差7/29±2) 対応地震発生の可能性極めて考え易い



変動種	観測装置	変動変化関係	経験則	計算される 推定発生日
BT				
①	CH17	初現2021.11/24~終息2022.06/17	(Tfap:Tpp=6:1)	7/28±3
②	CH21	初現2021.11/28~極大2022.02/19	(Tfap:Tmap=20:13)	7/30±3
③	CH21	極大2022.02/19~終息2022.06/19	(Tmap:Tpa=3.9:1)	7/29±3
系状特異				
④	K7,8	初現2021.11/24~極大2022.02/18	(Tfap:Tmap=20:13)	7/28±3
⑤	K7,8	極大2022.02/18~直特2022.07/01.5	(Tmap:Tpa=6:1)	7/28±3
系状特異				
⑥	K10	極大2021.12/16~終息2022.06/01	(Tmap:Tpp=3.9:1)	7/27±3
櫛歯変動値変化				
⑦	CH32	極大2021.12/26~副極大2022.02/15	(Tmap:Tps=4.2:1)	7/31±5
BF特異				
⑧	K6	初現2022.03/08~極大2022.04/27	(Tfap:Tmap=20:13)	7/29±3
⑨	K6	極大2022.04/27~終息2022.07/05	(Tmap:Tpa=3.9:1)	7/29±3
特異				
⑩	CH2,21	極大2022.06/04~終息2022.7/15	(Tmap:Tpp=3.9:1)	7/29±3
特異				
⑪	K9,10	初現2022.06/21.7~極大2022.07/05	(Tfap:Tmap=20:13)	7/29±3
特異				
⑫	K6	初現2022.07/06.6~極大2022.07/14.7	(Tfap:Tmap=20:13)	7/29±3
⑬	K6	極大2022.07/14.7~終息予測2022.7/25.8±		



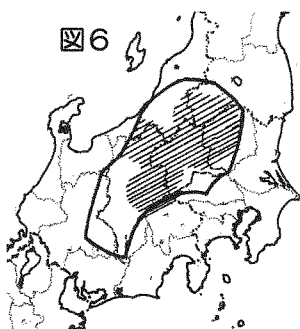
浅間山前兆変動~噴火過去例= 19日 (±4)
白根山前兆変動~噴火過去例= 34日 (±5)



6/ 6/ 6/ 6/ 6/ 6/ 7/ 7/ 7/ 7/ 7/ 7/ 7/ 7/ 7/ 7/ 7/ 7/ 7/ 7/ 7/ 8/ 18 20 22 24 26 28 30 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24 26 28 30 1

図1のとおり高知観測点K9,10に特異変動出現。図1下記認識。現在は殆ど変動なく静穏。終息は確認できない可能性。図2のとおり、高知観測点K6に特異変動出現。最終認識変動。図2下記の関係認識。7/25.8±終息の可能性有。図3参照。八ヶ岳のCH26に6/20噴火型前兆変動観測。その後微弱継続し、L型の基線が下がる火山近傍地震前兆変動が継続し、図4のとおり7/12に細かな変動がない基線電圧値が上がる噴火型近似変動出現。現在は静穏。図3は噴火型変動に見えますが、前後の変動の弱い日や7/12の変動は細かな変動がない、噴火過去例では図3の様な変動が複数日出現。今回は噴火型前兆変動過去例とは異なり、確実に噴火活動に至るか否は不明。火山近傍地震を示しているだけの可能性もあります。但し噴火の可能性は否定困難。現在継続中変動はK6のみ。左上の12項目の変動変化関係は全て7/29±2地震発生の可能性を示します。14年と云う過去例の無い長期継続前兆も殆ど終息。過去例が無いので推定通り地震が発生するか断定は困難ですが、念のためご注意ください。発生なき場合は平に陳謝します。

図6



- ◆推定領域: 図6太線内領域内 (火山近傍)
斜線域=可能性考え易い参考推定領域
- ◆推定規模: M8.0±0.3
震に伴う近隣火山の噴火=完全否定は困難
- ◆推定時期: 7月 29日 (誤差: 7/29±2)
- ◇推定地震種: 震源浅い陸域地殻地震
- ◇推定発生日刻: AM 9:00±2 又は PM 5:00±3

C) Copyright 2022 YSBO 八ヶ岳南麓天文台